市民ひろば

発行人　市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表　小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ
毎月3000部発行
年額1000円

SHIMIN-HIROBA
じゆうとへいわ

書き留めて㉘　あさの　かずこ

在日のあなたが教えてくれました
憤は声立てず涙する花

誰が祖国を分けてしまったの　と
歌うイムジン河いま又くちずさむ

市長は独走をやめ、市民合意を

南口再開発は再検討すべきだ

現在、豊岡市長は三島駅南口再開発事業を急ピッチで進めている。西街区の土地は破格の値段で東急電鉄に売却され、オリンピック前の完成を目指して既に工事が進んでいる。また、東街区も地権者組合と工事請負企業体との協定締結に向けて動き出している。協定が成立すれば後戻りは難しくなる。総事業費２２０億円、市の負担額91億円にも関わらず市民合意に向けた動きは見られず、まさに市長の独走ともいえる進め方だ。

去る6月6日、「三島駅南口の整備を考える市民の会」主催の学習会が開かれた。参加者は少なかったが、主催者を代表し、グランドワーク三島の渡辺豊博氏から三島市が再開発事業を進めるについて重要な問題が提起された。

東街区再開発事業費は総額２２０億円で、その内訳は一般財源10億円、市債51億円、市補助金30億円、国補助金45億円、県補助金15億円、事業者の資金は69億円。市からの投入金は総額91億円となっているが、その内、一般財源10億円と市債51億円の計61億円は30年かけて回収するとのことである。

南口開発による巨大な壁予想図

ところが本庁舎も含め三島市の公共施設は老朽化が進み、特に市役所本庁舎は築58年で耐用年数が迫り、10年以内に80億円をかけた建替工事が急務となっている。しかも、庁舎建設基金は現状では12億円しか積み上げていない。更に、今後30年間に文化会館の補修や体育館等老朽化した公共施設の建替やインフラ整備で総額約８３０億円の資金が必要と見込まれる。オリンピックを前にした資材高騰、今後の人口減少、税収低下・景気低迷等を考えれば、今、この状況で駅前の大型再開発を進める利点がどこにあるのかと疑問になる。しかも総工事費は今後更に膨らむ可能性が十分にある。無理して多額な税金を投入して開発を推し進めれば、市民の暮らしに直結する教育や福祉予算が圧迫されるのは目に見えている。

今必要なのは身の丈に合った、三島市の自然と景観に調和する駅前開発ではないか。このまま計画が進めば、西街区も東街区も行く手を阻む「巨大な壁」と化したホテルや高層マンション・商業施設が立ち並ぶことになる。

全国各地で似たような開発が行われているが、多くの場合失敗している。その顕著な例が青森駅前再開発事業だ。運営する第三セクターの経営が破綻し、市には多額の未回収金が残されている。

着工すれば取り返しがつかない。楽寿園の森、湧水、富士山の景観、これらが揃って三島らしい自然と景観が保たれ、観光資源にもなる。そうした三島の特徴を台無しにしかねない開発ではないか。

全国どこに行っても見られる高層マンションと商業施設の組み合わせで、一時的に人が賑わったとしてもすぐにたれるだけだ。しかも、ホテルや高層マンションにより地下水が遮断され貴重な三島の湧水が無残に破壊される危険性が高い。一度破壊されれば責任の取りようがない。

仮に計画を進めたとしても直面する課題は多い。現在、東街区の市保有地は駐車場として利用されており、年間１億数千万円の収益がある。市民の利用率はかなり高く、工事により一時的にも駐車場が使えなくなれば、収益も無くなり、工事期間中の駐車場代替地も必要になる。また、総工事費は２２０億円だがオリンピック需要で資材は高騰しており最終的には工事費は膨れ上がる公算が高い。その負担はどうなるのか。更に開業後、収益見込みが立たずテナントが撤退した場合のリスクはどうなる。市民に失敗のつけが回されることがあってはならない。

三島市は南口開発について14回も市民討論会を開催し、延べ１５００人もの市民参加を重ねてきたという。そのこと自体は評価されるとしているが、これまで行われた市主催の市民討論会の参加者の殆どは、動員された市の職員であり、体裁だけを取り繕うものでしかなかったことは参加した者は誰でもうなずけることだ。

豊岡市長は、開発事業に「反対する市民は誰もいない」と豪語しており、文化会館一握りの市民を集めて通り一片の説明をしただけで「市民合意」を得たと錯覚している。「市民と共に話し合いながら市政を進めていく」という就任当初の姿勢は今では全く見られない。〈H〉

裸の王様

真実を考えるために

6月はじめ、ニュースは、日大アメフト部危険反則に続く日大の古い体質をめぐる問題、森友・加計問題、米朝会談に向けての動向などが大きく報じられている。しかし、今、本当に考えるべき問題はそこではない。若年層の保守化こそ大きな問題だ。仮に森友・加計問題で安倍政権が倒れても、石破茂、野田聖子、小泉進次郎あたりが出てくれば、再び自民党政権を支持する方向に多くの若年層が廻ってしまうだけのことだろう。それほど若年層が保守化している憂うべき現状がある。安倍政権の支持率が落ちたといっても3割程度で、一方、野党は全く増えていない。

かつて多くの大学では、政治的スローガン、例えば「アメリカ帝国主義によるベトナム侵略を許すな」とか、学内スローガン「不当処分撤回せよ！」などといった、学生運動の立て看が大学のどこでも見られた。一九六八年から七〇年ころ、日大も、巨額の使途不明金をめぐって、秋田明大を議長とする日大全共闘が結成され、日大講堂を埋め尽くして、当時の古田総長を引っ張り出して大衆団交が行われた。有名人ではテリー伊藤も、当時日大文理学部の学生としてデモ隊の中にいた。

東大でも、機動隊と安田講堂をめぐり攻防がくりひろげられた。もし、今の日大アメフト部の問題が当時起きたなら、当然、学生は黙ってはいなかっただろう。ところが、現在、学生は立ち上がらず、わずかに教職員組合が、日大の田中理事長ー内田常務理事による恐怖の専制支配体制のなかで、やっとの思いで声を上げただけである。

本来、社会正義を追求すべき若者が立ち上がらず若年層の保守化が進む今、その事についての本質的な議論が必要なのだ。例えば、米朝会談をめぐって、アメリカはまるで自由と民主主義、正義そのものであるかのように報道され、北朝鮮は諸悪の根源だと単純な図式で情報が流される。多くの若年層が漠然とそのように受け止め、ネットでは、知性のかけらもない輩のヘイトスピーチが蔓延している。

もちろん、単純に北朝鮮が正しいわけでもない。北朝鮮は王朝国家並みだし、中国や旧ソ連を含め、真の社会主義とも思われない。

真の社会主義とは「自らの労働を、自らの共同で支配する」という人民の自治が生産の現場でも、社会で行渡り保障されることだ。中国など、どこにそれがあるのか。党官僚が権力を握り、生産は売れさえすればなんでもいいという国家資本主義になっている。だからこそ、労働者も自らの生産物に対する関心も、主導権も持てなくなってしまっている。だから、北朝鮮だろうと中国だろうと、真の社会主義ではなく誤った面がたくさんあると批判するべきだ。

一方で、アメリカが自由と民主主義の代表とはいい難い。そこを、強く若年層などにも説いていかねばならない。

かつて南米チリでは選挙でアジェンデ大統領率いる社会主義政権が成立した。ところがアメリカ諜報機関ＣＩＡの暗躍でクーデターが起きアジェンデ政権は倒された。アメリカとはそういう国だ。〈池〉

放射能汚染土を農地造成に使うな

環境省は福島県の仮置き場に堆積するフレコンバッグ入り放射能汚染土を、農地造成に再利用する方針を固めた。ただし、食用作物除くとしているが、秋にも飯舘村での実証試験を行い、全国に拡散する考えだ。

しかし、全国の多くの識者が絶句するほど非常識な処置に怒りが渦巻いている。

除染が始まった当初、あんなフレコンバッグに保存して、バッグの耐用年数をどの程度考えているのか疑問だったが、既に多くの袋はボロボロで周辺に漏れ出している。何と今度はそれを農地造成に再利用する実証に入るという。

当初から税金の無駄遣いに過ぎないと分かっていたのにはどうなるのか。

大手ゼネコンに丸投げして除染を行い、避難した住民を呼び戻した。既に８千Bq以下の除染土は公共事業の盛土として全国に拡散させようとしている。それでも間に合わないので今回の処置だ。８千Bq以上の土は全国の焼却施設で燃やして放射能を天気中に拡散し、焼却灰は肥料やコンクリートに混ぜて全国に拡散させると言及。

おそらく五輪前には積み上がった除染土を片付けたい思惑からだろう。

除染土は「汚染土」であり、再利用は「再汚染」だ。事故前は百Bq／kg以下だって警告付きの黄色いドラム缶に入れて厳重管理だった。なのに「農地造成に使う除染土は１Kg当たり５千Bq以下と決めている」「１Kg当たり８千Bq以下であれば、道路の盛り土などに再利用できるとしているときた。何のために除染したのか。仮に農水省が使いたいといっても引き留めるのが環境省だろう。環境省は既に環境破壊省、汚染拡大省となっている。

この国は根本からおかしい。〈J〉

百千鳥

▼久しぶりに「花見酒」という落語を聞いた。花見酒のあらすじは現代風に書けばこうなる。長屋の熊さんと辰さんが「安い酒を仕入れて、花見客に高く売りつけ、ひともうけをしよう」と考えた。▼一万円で一升千円の酒十本を仕入れ、釣り銭用の五百円をもって、花見客で賑わう公園に出かけた。一合を五百円で売ればい一升で５千円。全部で五万円の売上げになる。仕入れの費用の一万円が、５倍になる計算だ。▼だが、公園に酒を運ぶ途中で「おい、五百円を払うからお前の持っている一升瓶から一杯だけ飲ませろ」その五百円を受け取った辰さん。次は自分が、「おいらも飲みたくなった。五百円で一杯、売ってくれ」。▼これを繰り返しているうちに、二人ともへべれけに。花見の公園に着くころには、背負った酒はすっからかんになり、手元には五百円だけが残った。▼二人の間の取引は五百円×百回で五万円、花見客に売ったとしても同じ金額だ。「酒が全部売れたのだから、五万円あるはずなのに、なんで五百円しかないのだろう？」二人は顔を見合わせた。これが落ちである。▼この話をバブル景気の盛んなとき、当時の朝日新聞の論説主幹であった笠信太郎は「花見酒の経済」という著書で書きバブル景気はこの話によく似ていると警告を発したことはよく知られている。案の定、バブルがはじけて、その後遺症は今の経済状況にも影響している。▼アベノミクスの考えはこのように、実体を伴わない砂上の楼閣のような、金の往来をさせているのではないのか。実体のない目先の利益に目を奪われず、確実にものを作りだす経済に転換していくことが必要だ。〈O〉

NOUCA　古民家
カフェ
紅茶の国スリランカで
極上のコーヒーを発見！
畑毛温泉近くの古民家で
スペシャルコーヒーはいかが？
自家焙煎珈琲　ゲストハウス＆カフェ
電話・FAX　055－950－9289
毎週金曜 定休
営業時間　9:00～18:00
ランチタイム　11:30～14:00
伊豆の国市奈古谷 1048-1

あんみつ　おしるこ
沼津姉のオアシス
和風カフェ ねこや
沼津市千本港町 77-4　沼津みなとアートビル
和風カフェ＆ギャラリー　ねこや
TEL：055-943-5541
営業時間 10:30～17:30 休み：水曜・木曜
・ギャラリー展示・
6/29(金) ～ 8/28(火)
中国を代表する水彩画家
チェンイー展

文盛堂書店
定期購読の雑誌等、配達承ります
営業時間　9:30～19:00
住所　三島市中央町2－37
（中央町商店街）
電話　055－975－4229
FAX　055－972－3319
定休日　元旦
http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

長い歴史に培われた確かな目
人生の節目に、信頼の置ける
時計・宝飾・メガネ
小坂
時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽にご相談下さい
三島市本町 8-1
055-975-1345

慈眼堂
赤ひげのはりときゅう
腰・肩・膝の“いたみ”どり
3回無料
～～～～～～～～～～
認知症・糖尿病・ガンは
食事改善で
予防することが可能です
ご希望の方はお申し込み下さい
【治療時間】9:00 ～ 18:00
【休日】木・日
【住所】三島市谷田 173－13－101
【TEL・FAX】055－976－8765